

予防接種は病気の重症化を防ぐために行います。 お子様の体調を見て、安全に受けることが大切です。

(予防接種を受けられない方)

- ①明らかに発熱している方（接種時体温 37.5℃以上）。
- ②重い急性疾患にかかっている方。
- ③ワクチンの成分（詳しくは医師にお尋ねください）によって過敏症（通常接種後 30 分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応を含む）をおこしたことがある方。
- ④生ワクチンを接種して 28 日以内の方、または不活化ワクチンを接種して 6 日以内の方。
- ⑤妊娠していることが明らかな方。
- ⑥その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた方。

(予防接種前に医師によく相談しなければならない方)

- ①血小板が少ない方や出血しやすい方。
- ②心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方。
- ③過去に予防接種で接種後 2 日以内に発熱のみられた方。
- ④過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方。
- ⑤過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、もしくは近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- ⑥妊娠している可能性のある方、あるいは授乳中の方。
- ⑦このワクチンの成分または破傷風トキソイドに対してアレルギーをおこすおそれのある方

(接種後の注意点)

- ①接種後 30 分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医療機関で様子を見るようにしましょう。（難しいときは医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。）
- ②接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ③接種後 1 週間は体調に注意しましょう。また、接種後、腫れが目立つときや機嫌が悪くなったときなどは医師にご相談ください。
- ④不活化ワクチンの接種後、違う種類のワクチンを接種する場合には、6 日間以上の間隔をあける必要があります。
- ⑤生ワクチンの接種後、違う種類のワクチンを接種する場合には、28 日間以上の間隔をあける必要があります
- ⑥他のワクチンと同時接種を希望する場合には、医師にご相談ください。
- ⑦接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ⑧接種当日は体育関係の部活等激しい運動はさけてください。その他はいつも通りの生活で結構です。

(健康被害救済制度について)

適正に使用したにもかかわらず発生した副反応などにより、入院が必要な程度の疾病や障害などの健康被害が生じた場合は、予防接種法や医薬品医療機器総合機構法及び予防接種賠償責任保険に基づく被害者救済の対象となります。気になる症状が発生した場合には、医師にご相談のうえ、かほく市健康福祉課予防接種担当（283-1117）へご連絡ください。